

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 1月 30日公開
携挙がどんどん近づいている！

.....
シャローム！イスラエルのガリラヤからこんばんは。アメリカ東海岸は午後、西海岸は朝、アジアは真夜中ですね。申し訳ありません。でもこの時間帯が唯一、ライブでメッセージできる時なのです。ということで、もう一度、ガリラヤよりシャローム！こうしてまたカメラの前で皆さんにレポートできることを嬉しく思います。しばらく皆さんにメッセージを伝えていなかったのは、基本的には、フィリピンを訪れていて20日近く家族から離れていたためです。フィリピンのミニストリーツアーは、それはそれは感動的で、大小さまざまな教会から小さなイベント、それから大学やプライベートなイベントなど、これまで自分が行くとは夢にも思わなかったような場所まで、全てがとともうまく行きました。皆さんのお祈りに感謝します。私自身体調を崩して、抗生物質のお世話になったりと、大変なこともありましたが、どうにか家に戻ってくる事が出来ました。また、家族も体調を崩していたのですが、皆無事で、今家にいることを神様に感謝しています。それからしばらく休暇を取って、子どもたちと妻と一緒に過ごしていました。家族は私を必要としていますし、大切なことですからね。

さあ、ようやく Facebook Live に戻ってきました。現在、実に多くの事が起こっているで、それらをお伝えするのがとても楽しみです。アメリカ国内、ヨーロッパの中、それからもちろん、中東において。これがとても重要なのです。

多くの方が、ドナルド・トランプが当選したことで、神は、教会の携挙や預言者が語った終わりの時に起こることなど、そのご計画を保留にされたと考えていますが、言っておきます。我々に変えられることは一つだけ。一つだけです。それは、終わりの時に様々な事が起こっている間、自分がいる場所です。これまでも何度もお伝えしてきましたが、この世には二つの軌道があります。覚えていますか？預言者が既に預言した、世界で起こることを。これらは、起こるのです。それは、ドナルド・トランプも、バラク・オバマも、アンゲラ・メルケルも、ウラジミール・プーチンでさえも止められません。実際、こう言った人々は、終わりの時に世界で起こる出来事の役割を演じているのです。ですから、世界の指導者たちが良い人か、悪か、リベラルか、保守的か、そういったことは大して重要なことではないのです。彼らはそれを止めません。神は、これから何が起こるか、すでにご存じです。神は全てをご存知ですが、私たちは全てを知りません。しかし、神に感謝すべきは、主がご存じの事を、その預言者たちに伝え、彼らがそれを書きとめたため、私たちには聖書があるのです。そして我々は、これから何が起こるのかを知っているのですから、そこに注目しておくのがとても重要なのです。どうかもう一度、皆さんがどこからこれをご覧になっているのかを書き込んでください。世界中の人々がこれをご覧になっていると知って、本当に励まされています。

す。南アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、南アメリカ、他にも 200 か国以上でこれをご覧になっている人々がいるのです。これはものすごいことです。

では、数日前にドナルド・トランプが大統領命令を出した入国禁止についてお話ししましょう。これに関して、多くの偽情報や誤報が出回っているので、明確にしたいと思います。皆さんが知っておくべき事は、まず第一に、現在トランプが行おうとしていることは全て、テロを生産していることで知られている国々から、アメリカ領土に入ろうとする人間を、正しく厳しく吟味するためであり、これらの国々からテロリストが活発にアメリカに入国しようとしていることは、我々にも周知のとおりです。そして、ドナルド・トランプが選ばれたことで、こういう人間にとっては、何とかアメリカに入国して彼を傷つけようと狙っています。なぜなら、イスラムテロを指摘して、「これこそが、我々が解決すべき問題だ！」という根性のある人物は、彼だけだからです。

「私はこれを『イスラムテロ』と呼ぶことを恥としない！」

「この問題に取り組むことを、恥とは思わない！」

「それぞれに役割を果たしてもらおう！」

これが、彼がこれほどまでに早急に行った理由です。彼は「2週間後に渡航禁止令を発令する」と言うことも出来ました。しかしそうすれば、テロリストがアメリカに駆け込むために2週間の猶予を与えてしまうことになるのです。だからこれほど即急に行く必要があったのです。

次に、基本的に…その前に、アメリカへの入国が禁止されている国のほとんどが、アメリカで行われたテロの犯人を生み出した国ではないと言われていますが、それは間違いです。こ

れもまた、一部が偽情報です。イラン人やシリア人が「**まだ**」アメリカに来てテロを起

こしていないのは事実です。しかし、まず彼らはヨーロッパではテロを行っています。さらに理解しておくべき事は、一つにミネソタのテロ（書記注:2016年9月17日に、ショッピングモールで刃物を持った男が8人を負傷させた。後にISIS系メディアが犯行声明を出した）は、ソマリア難民の犯行でした。さらに、2人のイラク人難民が、テロの犯行直前に捕まっています。これらは、オバマ政権時の事件です。オバマは2011年に、イラクからの全ての難民に対して6か月間の入国禁止令を発令しています。ですから、ドナルド・トランプを、ヒトラーだとか、何か移民を嫌っているかのように思い描くのは、大きな間違いです。実際のところ、全て彼がしたことは、難民の上限を7万人から5万人に減らしただけです。それほど劇的な変更ではないのです。それでも全ては、言い方と、人々が何を聞きたいかによるのです。大統領就任式の日、私はニュースを見ていましたが、あの無政府主義者たちのパレードは実に悲劇的でした。サタンの的と言っても良いほどでした。人々が「サタンの教会」から、サタン崇拝者のような恰好をして出て来て、彼らがトランプについて言うこと全てが、

私には、イザヤ書 5:20~24 を彷彿とさせました。それによると

20 ああ。

悪を善、善を悪と言っている者たち。

彼らはやみを光、光をやみとし、苦みを甘み、甘みを苦みとしている。

21 ああ。おのれを知恵ある者とみなし、おのれを、悟りがある者と見せかける者たち。

22 ああ。酒を飲むことでの勇士、強い酒を混ぜ合わせることにかけての豪の者。

23 彼らはわいろのために、悪者を正しいと宣言し、義人からその義を取り去っている。

24 それゆえ、火の舌が刈り株を焼き尽くし、炎が枯れ草をなめ尽くすように、彼らの根は腐れ、その花も、ちりのように舞い上がる。

彼らが万軍の主のみおしえをないがしろにし、イスラエルの聖なる方のみことばを侮ったからだ。

(イザヤ書 5:20~24)

つまり、現在我々が目にしている、不法な者たちの巨大な波、暗闇を光だと言い、光を闇だという人々、善を悪だと言い、悪を善だと言う人々、すべて出どころは同じです。

24 …彼らが万軍の主のみおしえをないがしろにし、イスラエルの聖なる方のみことばを侮ったからだ。

(イザヤ書 5:24)

だから、数日前に行われた March for Life (命の行進) は全く違ったことを物語っていたのがわかるでしょう。誰も窓を壊したりせず、誰一人として暴力行為に出る者はなく、主を愛し、主を礼拝する人々、主の御言葉を尊重する人は、命のために行進しているのです。死ではなく、暴力のためでもなく、命のためです。しかしメディアは見事なまでに、目を見張るような平和的行進ではなく、暴力的な方を多く報道していました。そしてこの行進は、副大統領が公式代理人を務めました。このような立場にある人が、このような行進の代表を務めるのはアメリカ史上初めてで、素晴らしいことだと思います。

次に、トランプが行ったことの何が問題であったのかをご説明します。私は彼がやっていることについては 100%賛成です。ただ、公衆の面前で大々的に大統領令に調印するのは、賢いやり方ではないと思います。そうではなく、難民に対処している政府機関に対して、黙って命令を出せばよかったのです。なぜかと言うと、人々はただ、彼がカメラの前に出て来て、何か言うのを待ち構えています。そして、意味を変質させて伝えるのです。悲しいことに、真実に目を向けない人も中にはいるのです。人々は数字を見ていません。メキシコからの不法入国を止めなければならないと言って、トランプが壁について語ったのと同じことを、ビル・クリントンが語った時には、下院全体からスタンディングオベーションを受けました。

全く同じことを語っても、一人は大絶賛され、もう一人は差別主義者だの女性蔑視だのといろいろ言われ、さらにはヒトラーとまで言われています。私はこう見えています。二つの事柄が見られ、一つはダブルスタンダード=ご都合主義。もう一つは、私が思うに、これに私は危惧しているのですが、一般的に社会が、特にアメリカ社会が崩壊しつつあり、15年、20年前には、明らかに正しかったこと、理にかなっていたことが、現在、多くの人にとっては全く筋が通らないということです。見ての通り、悪の動き、不法の秘密はすでに働いています（第二テサロニケ 2:7）。それが人々の目を、真理が見えないようにして、実際には何が善で何が悪なのかを、人々が理解できないようにしているのです。だから、20年前に民主党大統領が善だと見なしたことが、こんにち、同じ大統領の党派から悪であると見なされているのです。このように、彼らがどんなふうにご都合主義に動いているのかを見ていると、極めて面白いですね。同じことを、一人が言うと皆から絶賛され、もう片方が言うと皆から憎まれる。私が思うに、トランプはこの2週間の間にもものすごいことをやっています。実際、何年分ものダメージを修復していますから。

しかし、繰り返しますが、彼の個性、やり方、ツイッター、公衆の場での姿が、多くの戦火を引き寄せています。私が「戦火」と言ったのは、敵にとって、アメリカを攻撃するには、これで十分な理由になるのです。つまり、どういうことかと言うと、敵をなだめれば、敵はあなたから距離を置くのです。バラク・オバマが2期目の政権の終わりが近づいたここ2年間にずっと言っていたのは、「自分が任期を務めている間に、大きなテロ攻撃も、大きなスキャンダルも起こらなかった。」もちろん、スキャンダルはたくさんありました。それでも、これを持論のように唱え続け、そして私はこれが事実だと気づいたのです。よくよく考えてみれば、それは彼がイスラムテロリストをなだめたから、彼が、彼らと協力したから。彼はテロリストがアメリカを攻撃しないように、保障を買ったのです。それは認めましょう。バラク・オバマの時代に起こったのは、全てISISに影響されたアメリカ市民の犯行なのです。どれも、よく計画されたISISやアルカイダによる攻撃ではありません。彼らはオバマに「割引」を与え、休憩時間を与えたのです。なぜなら、オバマは彼らが他所で犯行することを許したからです。前にも言いましたが、アメリカが同意しなければ、ISISは今、存在していないのです。しかし、今はある人がこれを深刻に受け止め、立ち向かっています。現在はある人が敵を名指しして呼び、

「イスラムテロだ！」

「過激派イスラムテロだ！」

と言うのを、彼らは目撃していて、そういう時に彼らは言うのです。

「さあ、アメリカを攻撃するなら、今だ！」

私は預言者ではありませんし、脅威の全てを知っているわけでもありません。ただ、私が言えるのは、これは偶然ではない、ということです。トランプがまず最初に入国禁止を行った

のも、また彼が場当たりのにこれをやったのも、偶然ではありません。彼は直ちにこれを行いました。即効性をもってやったのです。理由はとても簡単です。アメリカの情報機関が傍受している外野の声、脅迫の数が、駆け引きをしている暇はない、直ちに禁止令を出そう、と彼らを動かしたのです。トランプはアメリカや、アメリカ人の安全を非常に重視しています。そして彼は、こんなデモ隊に動かされることはないのです。なぜなら、どうにかしなければならぬことを彼は理解していますから。以上、ドナルド・トランプについての話題でした。「アメリカ第一」は確かにアメリカが第一になるということでしょう。しかし、私たちが忘れてはならないのは、「アメリカ第一」が引き続き「アメリカ第一」だったとしても、いずれは転落します。中東で何かが起こったとして、アメリカは介入しないと選択したら、介入しません。それから、ロシアはいずれ、イスラエルを攻撃してくるだろうと、私は本当に信じています。

次に中東に話題を変えましょう。皆さんに理解しておいてほしいことは3つです。一つ目。イランは引き続き、国連とアメリカとの合意に逆らっています。以前、バラク・オバマがイラクとの合意を取りまとめた時に、私が言ったことを覚えていますか？彼は、弾頭ミサイルに関することは全て、自分の合意から省きました。そして、それに関することは安保理がその決議に含めるようにしたのです。その理由はとてもシンプルです。彼には、イランがこれら弾頭ミサイルの実験を行うことが分かっている、自分は合意を破りたくないから、それについては自分は語らない。国連がそれを取扱い、イランが破れば、それは国連の問題であって自分には関係ない、ということです。それは合意が調印された直後に起こり、昨日（1月29日）、イランは再び弾頭ミサイルの実験を行いました。つまりイランは、核弾頭を生産しては、それがイスラエルに届くだけの能力があるかどうかを調べるために、実験をしているというわけです。勘違いをしてはいけません。イスラエルはそれに対して、備えをしています。我々はちょうど、2つの実験に成功したところです。一つはアローズ3、もう一つはダビデスリングです。私はこの聖書的な名前が好きです。これは驚くべき防衛システムです、私がこれを防衛システムと呼ぶのは、これがレーダーとロケットを搭載しているからです。敵のミサイル発射をレーダーが察知すると、我々のミサイルが空中に放たれ、相手のミサイルを宇宙で破壊するのです。そうやって廃絶するわけですが、その最終実験をちょうど終えたところで、どれもが大成功でした。またイスラエルはそれらを自国用に使用するだけでなく、他の国々が購入できるように、次回ポーランドで開かれる軍事展示会での出品も視野に入れています。ということで、先ほど言った通り、イランが弾頭ミサイルの実験を行い、それは国連安保理で調印された合意に違反するものです。国連安保理決議は、イランがいかなる弾頭ミサイルの実験をも実施することを禁止していますが、彼らはそんなことはお構いなしです。彼らはアメリカから現金を得て、全てのビジネスが正常通りに動きだし、現在、経済は復興しているので、何も気にしないのです。これまでも欧米が何を言おうと、他の国がどう思おうと、全くお構いなしで、彼らの眼中にあるのはただ、引き続きシーア派イスラ

ムを拡大することと、引き続きイスラエル国家と、さらに言うならアメリカも抹消しようとするだけです。

それから、とても興味深いことが今、シリアで起こっています。信じがたいかもしれませんが、ISISがこれまで以上に強くなっていて、現在、シリア領土のほぼ3分の2をISISが支配しているのです。そのほとんどは砂漠です。しかし彼らは、そこで生きる術を心得ており、それが彼らの活動方法です。彼らにとって砂漠は、再結成し、再び攻撃をしかけるには最適な場所なのです。シリアにはそれがあり、アレッポが崩壊したことは知っていますが、これはまた別の話です。ISISはもう、アレッポにはいません。現在、アレッポにいるのは反政府軍で、大打撃に苦しんでいます。しかしそれによって、彼らが止めることはありません。

それから、イラクのモスルでも、イランの支援を受けているシーア派民兵の援護を受けて、イラクのシーア派兵士がかなり発展しています。そしてつい先日は、モスルの一部で化学兵器の巨大倉庫が発見されましたが、それはISISが所有しています。ここがとても重要なポイントです。イスラエルがとても恐れるのは、不正な者の手が、不正な武器に置かれることです。モスルではISISがそれを支配していて、彼らは不正に入手したのです。これは恐らく、サダム・フセイン（1937～2006 元イラク大統領・スンニ派）が所有していたもので、人々は「彼は大量破壊兵器なんか持っていなかったんだ」と言いましたが、そんなのはデタラメで、当然彼は所有していたのです。しかし問題は、ダマスカスが中東で最大の化学兵器と生物兵器の貯蔵庫の上にあるということは、我々も知る通りで、そしてダマスカスで物事が過熱し始めていて、緊張感が高まっています。我々が恐れているのは、いずれ不正な者が不正な武器に手をかけること、それは当然イスラエルに向けて使われるからです。恐らく、これによってダマスカスが終わるのでしょう。一週間半前、反政府軍がダマスカス市内の安全柵や境界を全て破壊しました。ダマスカスは巨大都市で、その中には厳重に安全管理された場所がありました。そこにはシリア軍の上層部、最高レベルの小部隊や、高官、警察上官が、安全できれいな地域に暮らしていました。そこではそれぞれがサウナやハンマーム（公衆浴場）のようなものまで所有していました。そして、反政府軍の一つが、その全ての囲いや検問所を突破することに成功し、その浴場の一つに突入し、その中で自爆し、多くのシリア人警察官が殺害されました。つまり要点は、ダマスカス市内での戦いです。反政府軍と政権軍との争いによって、これら大量破壊兵器貯蔵庫のコントロールをいとも簡単に失って、そこからあっという間に終わりを招くことでしょう。

ということで、トランプはホワイトハウス入りしました。しかしそのことで、反政府軍がシリアと戦うのも、ISISがイラクで戦うのも終わるわけではありません。それから、シリアに入っているロシアも、イランの挑発も終わるわけではありません。世界が、エルサレムに対して何かしようとする動きが止まるわけではありません。アメリカは大使館をエルサレ

ムに移そうと考えています。それから我々は、パレスチナやヨルダン、その他のアラブ諸国、そして当然テロリストからも、毎日毎日、何らかの脅迫を受けています。そのことが中東の戦争を意味しています。彼らは脅すことによって、これまでパレスチナがエルサレムを自分たちの首都とするために動いてきた、全ての事に大打撃を与えることを理解しています。国連安保理決議や、パリ和平会議について、前にもお話しした通り、エルサレムにイスラエルがいるということが、世界にとっては問題である、ということをお話ししています。また、アメリカの現政権にとっては、イスラエルがエルサレムにいることが問題ではないことも、我々には分かっています。つまり、現在、アメリカとヨーロッパがうまく協調できていないのがよくわかります。ですから私は、エゼキエル戦争の後、中東の和平はヨーロッパの指導者によってもたらされると思うのです。ここにアメリカは関わらず、全てがヨーロッパによって行われます。私がトランプ時代のアメリカについて最も恐れているのは、こういった国からの入国を禁止した大統領を辱めるために、巨大なテロが行われることです。アメリカ国内には、すでに、眠っている細胞が十分揃っています。そして、彼らの全員が何かを仕掛ける「GOサイン」を待っているのです。だからこそトランプは今、とても重要な任務を果たしているのだと思います。これらのことを承認する仕事です。

ということで、トランプについて、イランについて、シリアで起きていることについてお話ししました。それから、エルサレムを分断しようとする動きは今もなお続いていることもお話ししました。これはヨーロッパによって進められています。また、皆さんに理解してほしいのは、現在、多くの事が水面下で起こっています。今時点で皆さんにお話しすることもできないほどの事柄です。それでも、これら全ての事から言えるのは、私たちはますます携挙に近づいているということです。私に言えるのはこれだけです。現在、世界中で起きている全ての事は、聖書の中に見られることばかりです。イザヤ、エゼキエル、エレミヤ…そして私たちの預言者たちは、これらの事に関して、実に明確に示しています。それは無意味なものではなく、我々はそれを理解し、時期、季節を知ります。たとえ、主の日が突然襲ってきたとしても、備えができていなければ、私たちは構いません。問題は、我々には備えが来ているのでしょうか？それとも、世界のメディアに影響されて、闇を光、光を闇、善を悪、悪を善と呼んでいないのでしょうか？心と思いを、神の御言葉に向けていますか？私は政治に傾倒しているわけではありません。もし、ドナルド・トランプが聖書から外れたことをしようとしているなら、私は直ちに反対します。私自身、とても親しかった友人が、イスラエルに関して、また福音に関して、完全に間違った破滅をもたらす神学を信じていたため、彼に反対せざるを得ませんでした。とても残念なことですが、これは個人の問題ではなく、大事なのは神学で、誰がホワイトハウスにいるかの問題ではなく、政策が重要なのです。そもそも私は、政治家がそれほど好きではありませんから。それでも一つ、私に言えることは、この世の人々の価値観が崩壊に達したということ。もはや灰色ではなく、ただ白か黒。単に二つのグループに分かれました。世界があまりにもメディアに取り込まれてしまった

ため…だから私はメディアを「ミデヤン人」と呼ぶのですが、彼らは全くもって、偽情報・誤情報・無情報です。そこから私たちクリスチャンは把握することが出来るでしょう。

前回も言いましたが、インターネット上で何千何万と言う人々に発信している私のような人間だけではなく、皆さんお一人お一人がラッパであって、愛と確信をもって真実を発言することが出来る者なのです。私たち一人一人がいわゆる「見張り番」なのです。エゼキエル33章に、見張り番について書かれていますが、見張り番の役割は、来るべきことに関して、人々に警告を与えることです。人々に備えが出来ていなくても、見張り番の責任ではありません。見張り番の責任は、人々に警告を与えること。私たちが伝えた人が、拒絶することを選んでも、それは私たちの責任ではありません。しかし、出て行き、伝えるのは我々の責任です。それが私たちの責任です。でも、残念なことに、あまりに多くのクリスチャンがそれをしていないのです。彼らは口を開けて、声を上げることをとても恐れます。自分が差別主義者だとか、女性蔑視だとか、その他、現在、世が惜しみなく与えるタイトルで呼ばれるのをとても恐れているのです。しかし、理解しなければなりません。真実のために立ち上がることは、とても勇気のいることで、聖霊がなければできません。ペテロのことを考えてみたのですが、彼は、聖霊を内に宿す前には、大変な恥をかきました。イエスの目の前で、ローマ兵と女性から主について聞かれた時、彼は主を否定しました。そして、「イエスなんて知らない」と言ったのです。それがペテロの限界だったのです。私が面白いと感じたのは、聖霊の表れの一つが大胆さだと思うのです。異言で話す必要もなく、「これがしるしだ」というようなことは、私は信じていません。私が信じているのは、聖霊によるバプテスマ(洗礼)を受けた人、聖霊に満たされた人は大胆になる、ということです。ペテロをご覧ください。使徒行伝で、聖霊に満たされたペテロは恐れ知らずで、真理に対してものすごい確信を持っています。彼は、他の人がどう言おうが、全く気にしていないのです。これこそ、我々全員が持つべきものだと私は思います。確信をもって、声を上げるのです。今こそその時です。これまで以上に真実を伝えなければなりません。愛をもって伝えるのです。私たちは見張り役であり、引き止める者です。神が憐れんでくださるように、そしてどうにか悪いことが先延ばしにされるように、私たちは祈らなければなりません。私たちは引き止める者で、内に聖霊が宿っているのです。しかし、いったん私たちが取り去られれば、それまでです。だから、私たちには限られた時間しかないのです。人々に警告し、愛をもって希望の福音を、キリストの福音を伝えるのです。そしてまた、主につながり、主に従い、そしてもちろん、主に聞き従うのです。そうでなければ、もし私たちがキリストに従っていなければ、自分をクリスチャンと呼ぶことはできないでしょう。主は私たちに、ただ「信じます」ということだけを求められたのではなく、私たちは主に聞き従わなければならないのです。そして主につながり、主に聞き従うのです。それは当然、聖霊の助けがあって初めて可能になることです。

皆さんにお伝えしたいことがあります。それは最近 Facebook が、ある種の投稿やメッセー

ジを禁止したり、記事の内容を閲覧制限しているという話を、多くの人から聞くようになりました。だからこそ、皆さんには Behold Israel からニュースレターを登録していただきたいのです。それから無料アプリもダウンロードしてください。これまでに 10 万件近くのダウンロードがありました。それを通して、毎日、皆さんのスマホや iPad にイスラエルからのニュースが届きます。それから、Facebook が続いている限りは、引き続きフォローをよろしくお願いします。そしてお祈りください。

私が今、とても楽しみにしているのは、数日中に 50 名の団体をご案内するイスラエルツアーです。それぞれ異なる 7 か国—フィリピン、アメリカ、カナダ、シンガポール、タイ、日本、オーストラリア—総勢 50 名を聖書預言ツアーにご案内します。人々にイスラエルを案内し、現地で聖書の核心に迫って教えるのは、私が情熱を注いでいることの一つです。今回が終われば、次は 9 月、そしてその次が 12 月。12 月のツアーにはまだ若干空きがございます。まもなく 2018 年のツアー日程を公表しますので、お早めにお申し込みください。私はいつも、バス一台分しかお席をご用意いたしません。それ以上はお連れできません。それから、さらにワクワクしているのは、前にも言いましたが、私の夢は若者をイスラエルに連れてくることです。世界中の教育制度は、アメリカに限らず、こんにちの若者を破壊しています。それはただ、若者たちを崩壊させるだけでなく、多くのクリスチャンたちが信仰を失っているのです。私の夢は、18 歳から 26 歳までの若者をイスラエルに連れてきて、聖書を教えるだけではなく、証拠を見せることです。真実を見せて、メディアが嘘を教えていることを証明するのです。真実を目の当たりにして、聖書を見れば、情熱を燃やして帰っていきます。今の時点で、ヤングアダルトツアーには 30 名が申し込まれています。そこで私から皆さんにお願いがあります。旅費を払えない人のために、スカラーシップ（奨励金）を出したいのです。私自身が世界中を訪れて講演する時も、私は値段を設定して請求したことは一切ありません。私は無償で与えられたものは、無償で与えるべきだと思っていますから。私に無償で与えられたものも、無償で与えるべきだと思っています。私が訪れる国の多くは、私の渡航費を賄えませんが、そのことが理由でお断りするということはありません。主が導かれたことには、主が必要を与えられると私は信じています。そして今、私の心にあるのが、今の時点で 11 人の若者から申し込みが来ています。アメリカ、ヨーロッパ、日本、フィリピンの若者たちから旅費が出せないけれども、このツアーにどうしても参加したいと願っています。私の祈りは、もし皆さんの中で特に、このことに関して与えたいと思われる方がおられるなら、scholarshipfund@beholdisrael.org までご連絡ください。そして、どのように支援していただけるのか、お知らせください。私は、この 11 人の誰に対しても「NO」とは言いたくないのです。これから将来的に、主が私たちを取り去られるまでは、毎年一回、ヤングアダルトツアーを行うつもりです。そして可能な限り、次世代を再形成していきたいと思っています。ということで、支援の志のある方は上記アドレスまでメールをください。その件に関して、喜んで対応させていただきます。まだ、参加も可能です。5~6 席の空き

がございます。この年代のお子さんやお孫さんをお持ちの方は、ぜひご検討ください。もしくは、すでに申し込みをしている若者を支援したいと思われる方は、どうかご連絡を。お待ちしております。

先ほども言いましたが、数週間のうちに 2018 年のツアー日程を発表します。是非お申込みください。私が現地にご案内して、そこでバイブルスタディ・聖書預言を教えます。私はこのことに情熱を注いでいます。今年は何冊かの本と DVD を出版、また 14 か国を訪問する予定で、さらに 13 回のイスラエルツアー、非常に忙しい一年になります。どうか、私と家族のために、それぞれの健康が守られ、知恵が与えられ守られますように、お祈りください。それから、神の御言葉が決して虚しく帰って来ず、必ず神の望まれることを成し遂げ、主の言い送ったことが成功されるように、神の御言葉が世界の四隅に届くようにお祈りください。これまでに眠っていた多くの信者たちがようやく目を覚まし、聖書預言に興味を持ち始めています。また、これから起こる出来事について聞き、主の業のために情熱を燃やし、備え始めています。それから、この類の話を知りたいとは思っていませんでした。そのような国からも招待を受けています。

ニュースレター、Facebook、アプリを通して、訪れた場所やそこでの活動など、その都度報告していきます。

心から I love you!!! それから、この Facebook Live を聴いてくださってありがとうございます。この Facebook Live は、アカウントをお持ちでない方にもご覧いただけるように、You Tube にアップします。何度も言いますが、ニュースレターにご登録ください。Behold Israel.org それからアプリをダウンロードしてください。無料です。

Thank you again! God bless you from Galilee, Israel!!! 携挙まで、また数日近くなりました。私はとてもワクワクしています。皆さんもワクワクすることを願っています。近いうちに、Q&A で、もしくは、数日以内にアップデートでお会いしましょう。

God bless you!

Shalom from Israel!

Bye-bye!!!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO